



【羽田虎太郎（はだこたろう）くん】父・羽田猛彦さん、母・広美さん。5人兄弟の3番目（長男）。市川南小学校2年生。名前は父の名前の一文字「猛」にちなんで猛獣の虎を名前に入れたかったとのこと。虎のように走ることが好きな虎太郎くんの将来の夢は、オリンピック選手になること。

今年寅年。

虎は干支の3番目、食肉目ネコ科の動物です。インドネシアや中国、ロシアやその周辺国に生息しています。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」といったところでしょうか。

日本列島に野生の虎はいません。虎は千支の動物たちのうち、日本に棲んでいない唯一の動物

です。もともと、辰（竜）もいませんが、これは想像上の動物ですからどこにもいません。生きた虎が日本に来たのは、平安時代の890年といわれ、その後、江戸時代には、虎は見せ物として江戸や大阪などを回っていたようです。

多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しかし、虎はことわざなどによく登場し、昔から親しまれています。

虎は強いもの、恐ろしいもの、たとえによく使われます。「虎視眈眈」は、虎が獲物をねらって鋭い目でじっと見下ろすさまからきています。「虎の威をかける狐」は、他人の力を利用して人々を圧したり脅したりすること。「虎の尾を踏む」は、極めて危険なこと、たとえです。

「虎は千里行つて千里帰る」も、虎は一日に千里行つて、また、その千里を戻ってくる、ことができるということから、一般

新年おめでとうございませす。皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本経済は、なおも深刻な景気後退が続くものと推測され低成長時代に入った感がいたします。地方を取り巻く環境は地方分権改革により、地方の役割は更に拡大し、自主制、自立制が強くなり求められると認識していま

す。行政は住民の満足度を高め、多様性と創造性に溢れた豊かな自治を実現することにありますが、政策として財政の健全化を第一とし、町債（町の借金）を限りなく減らす取り組みをします。つぎに少子化対策、保育

所並び学校の耐震化と幼児児童生徒の保育や教育環境の整備充実、町立病院をはじめ地域医療の維持、高齢者や障害を持つ方が生き生きと暮らすことのできる福祉の充実、地球温暖化対策として住宅用太陽光発電設置への補助制度の創設、地場産業、農業、商業、産業、観光の振興、クリーンな公共交通身延線を活かしたまちづくりの視点から、駅周辺の整備、黒沢バイパスの平成26年度完成と西八代縦貫道の整備促進、さらに県立市川高等学校の存続は町民の皆様と共に「丸」な取

り組む最重要課題です。また、中部横断自動車道の促進や、リニア中央新幹線の峡南ルートが期待されます。暮らしやすさ日本一をめざし極めて厳しい財政状況にありますが、勇往堅実に行政に取り組み決意です。今後ともより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

平成22年1月1日

市川三郷町長

久保真一



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。町議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

昨年、衆議院選挙において新しい民主党政権が誕生し、国民は民主党政権に大いに期待するものであります。長引く不況の影響などで減収が見込まれるため、

歳入減を補填する財源措置を要望したことであり、地方財政への影響がないことを期待するものです。本町におきましても久保町長が町民の信任を受け、再度ご当選になりました。町の財政健全化推進を掲げ、これからの町政運営に期待するものであります。財源の確保は極めて厳しいなか、市川三郷町総合計画の基本方針に沿って邁進

してまいります。特に少子高齢化が進む中、福祉や教育文化の振興、自治体経営の町立病院の経営、生活基盤整備の推進等多くの問題が山積しておりますが、中部横断自動車道も昨年より工事着手しており早い時期の完成を望むものです。市川バイパスも用地買収が進み着工の運びとなりました。議会改革特別委員会も、議員報酬、議会議員定数に

ついでに審議も重ねております。今後とも、より一層のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。平成22年1月1日 市川三郷町議会議員 村松武人



【小松虎凱(こまつたいが)くん】父・小松隆治さん、母・歩さん。2人兄妹の長男。大塚小学校5年生。名前は、寅年生まれで、虎のように強くたくましく育ってほしいとの願いから。クラスメートからもイケメンと評される虎凱くんの将来の夢はまだ決めてないが、りっぱな大人になりたいとのこと。

には、「勢いの盛んなこと」のたとえとして用いられますが、別の解釈もあるようです。虎は何をしに、千里の道をあわてて帰るのでしょうか。

実は、虎は自分の子どもが心配で戻るのではないかということとです。恐ろしいものの代表のようにいわれている虎ですが、とても子どもを大切にしているそうです。

だれもが知っている「虎の子」という言葉も、このあたりから

きたのでしょうか。「虎の子」は、虎が子どもを大事に守り育てるところから、大切にしてお手放さないもの。秘蔵のものという意味。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」も、虎の子が貴重なものという意味から、「虎の住むほら穴に入って行く危険を冒さなければ、虎の子を捕獲することはできない」。つまり、身の安全ばかり考えていたのでは、目的を達成することはできないということ。

さて、2009年は皆さんにとつて、どのような年だったでしょうか。暮らしにかかわる大きな出来事としては、新型インフルエンザの流行や、政権交代が挙げられますが、これらの出来事は、2010年も大きな話題となりそうです。何事も虎のように威勢よくいきたいところですが、2010年も子どもを大切に育む虎のように、みんなで仲良く、健康にすごしたいですね。

歌を歌おう♪仲間をつくろう♪

コーラスを始める。

コーラス(合唱)することの楽しさとは…。楽器の演奏とは異なり特別な技術はなくても歌が好きであれば気軽に参加できること。また、みんなでひとつの作品を作り上げる感覚も、1人で歌うカラオケにはない達成感を見い出せるはず。そんなコーラスグループが町内には数多くあります。今回は 11/29 の町民合唱祭に参加したグループを紹介します。中には広く一般に部員を募集しているグループもあります。これを機会にコーラスを始めてみては…!。

S.C Gioia

★メンバー募集★

①依田貴司 ②高柳勉 ③りんどう館 ④週2回
※市川高校コーラス部OBを主体に結成しました。歌う喜びを分かち合いましょう。

問東條 ☎ 055-272-3884



①代表者 ②指導者

③練習場所

④練習日

詳しくは各グループにお問い合わせ下さい。



コーラスクラブたんぽぽ

★メンバー募集★

①一瀬正利 ②二宮洋 ③市川大門町民会館 ④週2回
※市川小学校PTAの父兄を中心に結成。自由に明るくのびのびと楽しく歌うのがモットーです。

問一瀬正利 ☎ 055-272-0157

かおりの会

★メンバー募集★

①上田とし江 ②志村かおり ③六郷町民会館 ④月2回
※志村かおり先生を中心とした、とてもアットホームなグループです。楽しく歌おう、歌って元気になろう! 私たちの仲間になりませんか? 問上田とし江 ☎ 0556-32-2439



コーラスなでしこの会

★メンバー募集★

①一瀬千恵子 ②雨宮規矩郎 ③市川大門町民会館 ④月2回
※結成8年目の楽しく歌って元気でいようがコンセプトのとても明るく、ゆかいなグループです。

問一瀬千恵子 ☎ 055-272-0406

ジュニアコーラスいちかわ

★メンバー募集★

①一瀬まゆみ ②佐野由紀 ③市川大門町民会館 ④毎週国
※小中学生で構成されていて週に1回、一生懸命練習しています。みんなで楽しく仲良く歌いましょう!

問一瀬まゆみ ☎ 055-272-3880



市川幼稚園ふたばコール

①有野美由紀 ②三井正栄 ③市川大門町民会館 ④発表前
※市川幼稚園に通う園児たちの母親で構成されています。歌好きなお母さんの集まりです。

すみれコーラス

①青柳恵美子 ②雨宮規矩郎 ③市川大門町民会館 ④月2回
※もともと公民館コーラスから、昼間に練習をしたい人が集まって結成しました。まずは楽しく、歌を歌ってリフレッシュ。



みたま童謡をうたう会

①内池二三子 ②落合節子 ③三珠総合福祉センター ④月2回
※「歌を歌ってきれいになろう」「健康のために声を出そう」を合言葉に、メンバー57人で姿勢や息の使い方、詩の思いを大切にしながら取り組んでいます。



市川アルカディア合唱団

★シバ★豪華★

①村松悟 ②村松悟 ③市川大門町民会館 ④月3回
※世界の合唱曲を広めるため、地域の音楽文化向上に貢献できれば…。練習見学だけでも大歓迎。合唱の喜びを共に味わいましょう。☎小林 ☎ 055-272-3430



市川女声コーラスりんどうの会

★シバ★豪華★

①岸本久枝 ②田辺幸洋 ③市川大門町民会館 ④毎週金
※「和を大切に」「楽しく歌う」をモットーに活動しています。昨年は40周年コンサートも成功させました。
☎岸本久枝 ☎ 055-272-2605



市川南幼稚園コーラス部

★シバ★豪華★

①山本恵子 ②雨宮規矩郎 ③市川大門町民会館 ④月1回
※市川南幼稚園の父兄を中心に活動しています。楽しく和気あいあいと歌うこと、また多彩な曲に挑戦しています。
☎市川南幼稚園 ☎ 055-272-1471



金の月歌の会

★シバ★豪華★

①笠井健次 ②三井正栄 ③市川幼稚園 ④月2回
※かつての市川大門青年団コーラス部を中心に集まった、県内でも数少ない男声合唱団です。「童謡」「歌唱」を中心に練習に励んでいます。☎笠井健次 ☎ 055-272-1810



六郷コーラス桜樹

★シバ★豪華★

①武井二三江 ②功刀八重子 ③六郷町民会館 ④月2回
※現在30代から80代までの幅広い年齢層、様々な職業に就く20人で活動しています。共通点は全員歌が好き。歌好きの方、気軽にご参加を！☎武井二三江 ☎ 0556-32-2078



公民館コーラス

★シバ★豪華★

①島崎忠 ②芦澤真一 ③市川大門町民会館 ④月3回
※平塩公民館と八幡公民館のコーラス活動から始まりました。生涯学習の一環として、年齢を問わず歌をとoshした活動が目的です。☎島崎忠 ☎ 055-272-1983



市川高校音楽部 全日本合唱コンクール銀賞受賞

達を信じていた」と語るのは指導にあたった高柳勉教諭。3年生の赤池夏実部長は「部員一人ひとり考え方も違い悩んだ時期もありましたが、それを乗り越え一丸となり良い結果を残すことができました」と笑顔で語りました。

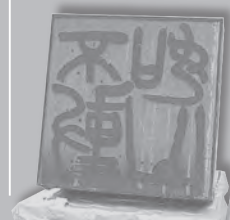
市川高等学校音楽部は、過日金沢市で開催された全日本合唱コンクールで銀賞を受賞しました。県内高校で銀賞受賞は初。野球に例えれば甲子園に出場し準優勝したような快挙です。「必ず良い成績をおさめてくれると、生徒



▲市川高校音楽部の高柳勉教諭(右)と赤池夏実部長(左)
表紙の写真は市川高校音楽部員

提言 地域資源の活用で 地域おこしを

市川三郷印章資源活用検討委員会が印章資源を核の1つとした住民参加型の地域活性化策を町へ提言



■市川三郷町の活性化にむけての検討

近年、地域資源を活用した地域ブランドの確立や観光を通じた地域活性化を図る市町村が増えています。町の印章資料館には2000～2500年前の中国の古銅印の印譜、1万数百点を収録したとても貴重な印譜集「十鐘山房印拳」が収蔵されていますが、ごく一部しか展示できず、地域資源として活用できていません。

昨年、六郷印章業連合組合が、「十鐘山房印拳」の展示システムの構築について町に要望書を提出したことをきっかけに、市川三郷町商工会では昨年4月、「市川三郷印章資源活用検討委

員会」を設置。展示システムの再検討や町全体としての新たな魅力づくりについて協議・検討し、その成果を11月の「はんに日本一六郷の里秋まつり」で発表。また、報告書にまとめて、同月、町へ提言し協力を要請しました。

■町全体としての地域おこしへ

まずは印章資源活用検討委員会が主体となり、町からの支援を受けて地域住民や関連団体と協働で地域おこしに取り組み、いずれは「町全体としての地域おこし」へつなげていきたいと考えています。

ぜひ一度、「十鐘山房印拳」を見に来て下さい。そして、この貴重な「町の宝」をより多くの方々に周知できるよう、当委員会の活動へのご理解、ご協力をよろしく願います。

【提言の主な内容】

- ▶「十鐘山房印拳」に収められているすべての印譜を画像データとしてハードディスクに収め、大型ディスプレイで見る聞く学ぶことができる展示システムを構築する。
- ▶印章だけでなく、町のさまざまな地域資源の情報も同システムで提供する。
- ▶地域住民を講師として招き、同システムを活用した各種講座を開催する。（後継者の育成も視野に入れた実践的な篆刻講座や、地域住民を対象とした「地域の語り部」を養成する講座など）
- ▶手漉き和紙体験や特産品づくりなど、地域資源を組み合わせた観光ツアーを開催する。など



※十鐘山房印拳（右）

中国古今の著名な印を集めた30巻191冊に及ぶ印譜で、中国人コレクター陳介祺により清時代に10セット作成された。日本芸術院会員の故小林斗庵氏により1999年に印章資料館に譲られた。



■市川三郷印章資源活用検討委員会のメンバー

市川三郷町商工会、六郷印章業連合組合、印章以外の業種の地域住民、町産業振興課

【問い合わせ】

▽市川三郷印章資源活用検討委員会事務局（町商工会六郷支所内） ☎0556（32）2159
▽町産業振興課 ☎055（240）4157

図書館 Information インフォメーション

【本館】 ☎ 055-272-8888 開館時間 9:00～17:00 (木曜日は19:00まで)
 【三珠分館】 ☎ 055-272-1204 開館時間 9:00～17:00
 【六郷分館】 ☎ 0556-32-2002 開館時間 [平日] 正午～17:00 [土・日] 9:00～17:00
 ■休館日：全館とも毎週月曜・祝日・年末年始 ※本館のみ月の最後の平日

図書館歴史講座

「映像でみる市川三郷町の文化財」

【日時】 1月23日(土) 午後1時30分～

【場所】 市川大門町民会館 2階視聴覚室

【内容】 市川三郷町の文化財には、神社、仏閣、石仏、自然など様々なものがあります。昔の人々が残してきた地域の貴重な文化財を、図書館職員の解説を交え映像で学習します。

■冬のおはなし会

【日時】 1月16日(土) 午後1時30分～

【場所】 市川大門町民会館 1階和室

【内容】 読み聞かせ、パネルシアター、かるた 他



今月のおはなし会 気軽にどうぞ！

- 本館 ー [乳幼児対象]
1/28(木) 午前11時～11時30分
- 三珠分館 ー [幼児から小学生対象]
毎週(火) 午後4時30分～5時
[乳幼児対象]
1/26(火) 午前11時15分～11時45分
- 六郷分館 ー [幼児から小学生対象]
1/19(火) 午後3時30分～4時

展示コーナー (本館)

『わたしのはり絵』展 村松明さん(北杜市)

【期間】 1月5日(火)～1月28日(木)

5年ほど前「はり絵」に出会いました。以来、はり絵に夢中になり、自分で製作した作品も80点を超え、昨年『わたしのはり絵』という本を出版しました。今回は県内の風景を題材にした約13点のはり絵を展示します。懐かしい風景に出会えるかもしれません。

新 着 図 書

■一般向け

『日本メソジスト教会史研究』
 (澤田泰伸・著/土肥昭夫・編
 /日本キリスト教団)



故人である著者は、山梨英和短期大学教授を務め、日本メソジスト教会の歴史を生涯の研究課題としていました。明治期の地方農村におけるキリスト教会の自給について論じた章では、自給独立の教会となることを至上の課題とし、それを達成した市川教会の歩みを分析しています。



届けよう、読書の楽しみ 本町で第24回山梨県図書館大会開催

▲昨年11/27(金)、第24回山梨県図書館大会が本町で開催されました。図書館職員、学校図書館司書、図書館を拠点に活動するボランティアグループ、また図書館利用者など約200名が参加しました。



▲基調講演では文字・活字文化推進機構理事長の肥田美代子氏が「2010年国民読書年～ことばの輝く国へ～」と題して、講演しました。肥田さんは「活字離れ、読書離れが進み、読書力や言語力の衰退が深刻な問題となっている。」「親が本を読まない、または読んでやらないとその子どもも本を読まなくなり、不読の連鎖が続いてしまう」と現在の問題点を指摘し「この国の将来を見据えた時、自分の言葉で伝えることのできる子どもを育てることが重要であり、そのために言語力の大切さが大人に問われている。」と解きました。また、講演会の後半には受講者との意見交換が熱心に繰り広げられました。



▲分科会では第1分科会が「すべての人に読書の楽しみを～図書館に何ができるか～」をテーマにシンポジウムを、第2分科会では「読書を支える活動～学校・地域での実践～」と題して、加賀美文子さん(図書館ボランティアグループ「トトロ」)、古屋詔子さん(朗読グループ「橡の会」)、藤澤友子さん(石和高等学校図書室)の3人が実践報告を行いました。